

10月15日(土)~18日(火)

頂点!

「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は60歳以上を対象とした健康と福祉の祭典。今年は異国情緒漂う長崎県で「長崎で ひらけ長寿の 夢・みらい」をテーマに、スポーツや文化などのイベントが開催される。宮城県からは20種目に148人の選手が出場。本番を控えた選手に意気込みを聞いた。



県内から選抜された登米市や気仙沼市、石巻市、村田町の6人が出場



グラウンド・ゴルフ ホールインワン目指す

結城貞さん(78)、齋藤明善さん(74)、堺千三さん(70)、鈴木富子さん(64)、石川巳代子さん(63)、鈴木鉄治さん(68)の6人が「宮城県チーム」として出場する。2011年に熊本大会に団体出場した結城さんは経験を踏まえ「ホールインワンをいくつ取れるかが勝負」と語る。

グラウンド・ゴルフはクラブで打ったボールをホールポストに入れるまでの打数を競う生涯スポーツ。運動場や公園など、どんな場所でも気軽にプレーできるのが魅力だ。芝や土などグラウンド



楽しくプレーしている

ドによってボールの転がり方が変わるため、状態を見極めて打ち込む強さも加減しなければならぬ。

「どんな会場なのか、行くまで分からない。運も必要」と6人。「目標は、もちろん優勝」とやる気十分だ。



ソフトバレーボール 仲間同士、 親睦深める

ソフトバレーボール

登米市東和町米川地区の「球愛(きゅうあい)会

は同市立米川中のバレーボール部の同窓生やPTAのバレーボールチームのメンバーら約20人で結成したグループ。50代、60代前半が中心で、今も仕事を続けているメンバーが少なくない。練習は主に週末の夜、ソフトバレーボール専用の軽く軟らかく、大きな球を使って、和気あいあいとした雰囲気で行っている。

練習は主に試合形式で行っている



トリートした8選手は全員が初出場。「メンバーの親



ラグビーフットボール 連携しつかり 得点稼ぐ

ラグビーフットボール

ラグビーチーム「宮城不惑」は毎週日曜に仙台港多賀城地区緩衝緑地に集まり、練習を重ねる。今回は学生時代からラグビーを続けてきた60代、80代のベテラン20人が選手として出場する。

主将の佐々木和則さん(61)は「チームの強みはフォワードとバックスの連携がしっかりと取れていること。うまくパスを通して得点につなげられる。年齢に関係なくパワーにあふれていて、元気なのが自慢」と笑顔で話す。

今回は全国から参加者が集まるため、これまで対戦したことのないチームと当たる可能性がある。佐々木さんは「チーム



年齢を感じさせないパワフルなプレー

内で声掛けするなどコミュニケーションを取りながらカバーし合い、自分たちの力がどの程度通用するか試したい」と意気込む。

試合後に控え室で相手チームと交流する「アフターマッチファンクション」や、試合以外の長崎観光も楽しみの一つだ。



ラグビーチーム「宮城不惑」の皆さん